



鉄鋼材料部品の再溶解試験と成分分析

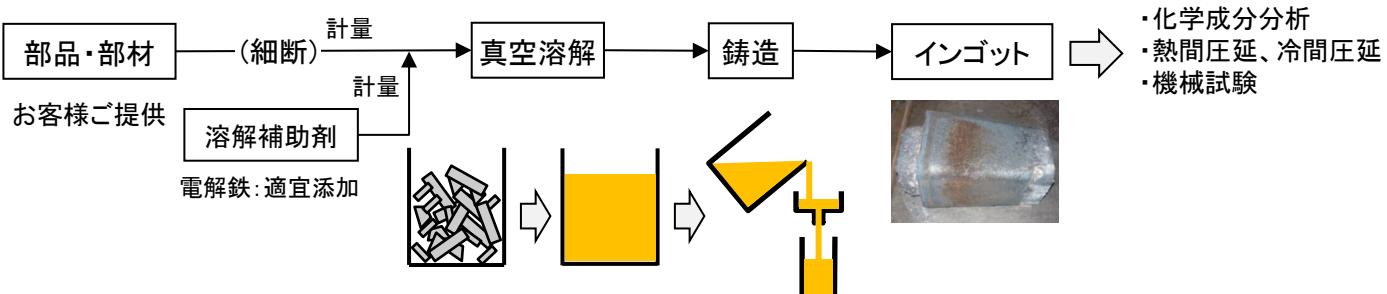
部品・部材を真空溶解して、スクラップとして再利用した場合の各種評価を行います。

技術の特徴

- カーボンニュートラル社会へ向けて、鉄鋼製品のリサイクル利用の検討が進んでおり、電気炉での鉄源としての再利用も拡大しています。再利用材料の品質・特性に与える影響を把握することは、今後のリサイクル材利用の重要な課題です。様々な材料が組み合わされた部品・部材を真空溶解炉で再溶解し、化学成分分析などにより評価いたします。

評価事例

- 自動車スクラップの鉄系部品を用いて、溶解・成分分析を行った事例です。



- オートマチックトランミッションユニット(アルミケースを除く)の化学分析事例です。



オートマチックトランミッション一式の化学成分分析結果例*

wt(%)

C	Si	Mn	P	S	Cu	Sn	Ni	Cr	Mo
0.46	0.44	0.74	0.014	0.009	0.79	0.028	0.06	0.449	0.05

- 足回り部材等の化学分析事例です。



足回り部材一式の化学成分分析結果例*

wt(%)

C	Si	Mn	P	S	Cu	Sn	Ni	Cr	Mo
0.76	0.41	0.65	0.019	0.014	0.04	0.004	0.03	0.196	0.03

*その他、不純物元素、微量元素の分析も行います。Sb、Pb、Bi、As、Mg、Tiなど



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2023 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

